

市単独事業

令和8年度 原配水池耐震診断業務

設計書

見積設計書

業務番号 宍水上委第 080102 号

路線名等 ー

履行箇所 宍粟市波賀町原 地内

種 別

実施



宍 粟 市

委 託 費				業 務 概 要	
	実 施	変 更	増 減 額		
設 計 額 基 準 適 用 (R8.5.1)				RC配水池耐震診断 2.0 池	
委 託 料					
執行方法	委 託	履行期限	令和9年3月25日 限り		
(起工又は変更理由)					

# 総括情報表

頁0-0001/0008

単価適用年月日	00-08.05.01(0)		
旅費交通費率計上	今回 01 自動率計上する	前回	

# 工事費内訳書

頁0-0002/0008

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
業務委託費						
水道施設耐震診断						
配水池耐震診断						
RC配水池詳細診断						
設計協議						
	1		業務			施工 第0 -0001号内訳表
現地調査						
	1		業務			施工 第0 -0002号内訳表
資料及び条件整理						
	1		業務			施工 第0 -0003号内訳表
第1配水池詳細診断						
	1		業務			施工 第0 -0004号内訳表
第2配水池詳細診断						
	1		業務			施工 第0 -0005号内訳表

# 工事費内訳書

頁0-0003/0008

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
直接費計（概略、予備、詳細設計）						
旅費交通費（率計上）						
その他原価			式			
業務原価			式			
一般管理費等						
委託業務価格			式			
業務価格計						
消費税相当額						
総計			式			





# 施工単価表

施工 第0 -0003号内訳表

頁0-0006/0008

資料及び条件整理

[規格1]	[規格2]	[摘要]	1	業務	当り
名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
技師(A) (大学卒13年以上)		人			1 直接人件費
技師(B) (大学卒8年以上)		人			1 直接人件費
技師(C) (大学卒5年以上)		人			1 直接人件費
技術員 (大学卒1年以上)		人			1 直接人件費
単 位 当 り	1	業務			

# 施工単価表

施工 第0 -0004号内訳表

頁0-0007/0008

## 第1配水池詳細診断

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数	量	単 位	[摘要] 単 価	金 額	備 考
理事・技師長 (大学卒23年以上)			人			1 直接人件費
主任技師 (大学卒18年以上)			人			1 直接人件費
技師(A) (大学卒13年以上)			人			1 直接人件費
技師(B) (大学卒8年以上)			人			1 直接人件費
技師(C) (大学卒5年以上)			人			1 直接人件費
技術員 (大学卒1年以上)			人			1 直接人件費
単 位 当 り	1		業務			

# 施工単価表

施工 第0 -0005号内訳表

頁0-0008/0008

## 第2配水池詳細診断

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	単位	[摘要] 単価	金額	備 考
理事・技師長 (大学卒23年以上)		人			1 直接人件費
主任技師 (大学卒18年以上)		人			1 直接人件費
技師(A) (大学卒13年以上)		人			1 直接人件費
技師(B) (大学卒8年以上)		人			1 直接人件費
技師(C) (大学卒5年以上)		人			1 直接人件費
技術員 (大学卒1年以上)		人			1 直接人件費
単 位 当 り	1	業務			

# 数量 総括表

原配水池耐震診断業務

工 種	種 別 ・ 細 目	算 式	数量	単 位	摘 要
業務委託費					
水道施設耐震診断					
配水池耐震診断					
RC配水池詳細診断					
	設計協議		1	業務	数量表①
	現地調査		1	業務	数量表②
	資料及び条件整理		1	業務	数量表③
	第1配水池耐震診断(詳細)		1	業務	数量表④
	第2配水池耐震診断(詳細)		1	業務	数量表⑤
経費					
	旅費交通費	率計上(土木設計業務)	1	式	

# 数 量 表

数量表 ①

設計協議

1.0業務当り

作 業 項 目	技 師 長	主 任 技 師	技 師 (A)	技 師 (B)	技 師 (C)	技 術 員		摘 要
1. 初回打合せ	-			-	-	-		
2. 中間打合せ	-	-			-	-		1回
3. 最終打合せ	-			-	-	-		
人 員 計 (人)	-				-	-		業務当り

# 数 量 表

数量表 ②

現地調査

1.0業務当り

作 業 項 目	技 師 長	主 任 技 師	技 師 (A)	技 師 (B)	技 師 (C)	技 術 員	摘 要
1. 現地調査	-	-			-	-	
人 員 計 (人)	-	-			-	-	業務当り



# 数 量 表

数量表 ④

第1配水池耐震診断（詳細診断）

1.0業務当り

作 業 項 目	技 師 長	主 任 技 師	技 師 (A)	技 師 (B)	技 師 (C)	技 術 員	摘 要
1. 解析モデル作成	-						
2. 耐震診断	-						
3. 耐震性能の照査	-						
4. 総合評価	-						
5. 報告書作成	-						
業務補正	-						作業小項目 7項目/13項目=補正係数
6. 照査			-	-	-	-	
業務補正			-	-	-	-	作業小項目 7項目/13項目=補正係数
人 員 計 (人)							1,000m3当り
容量補正係数							RC造 168m3
人 員 計 (人)							業務当り

# 数 量 表

数量表 ⑤

第2配水池耐震診断（詳細診断）

1.0業務当り

作 業 項 目	技 師 長	主 任 技 師	技 師 (A)	技 師 (B)	技 師 (C)	技 術 員	摘 要
1. 解析モデル作成	-						
2. 耐震診断	-						
3. 耐震性能の照査	-						
4. 総合評価	-						
5. 報告書作成	-						
業務補正	-						作業小項目 7項目/13項目=補正係数
6. 照査			-	-	-	-	
業務補正			-	-	-	-	作業小項目 7項目/13項目=補正係数
人 員 計 (人)							1,000m3当り
容量補正係数							RC造 216m3
人 員 計 (人)							業務当り

## 特記仕様書

業務名：原配水池耐震診断業務

履行場所：宍粟市波賀町原地内

履行期日：令和9年3月25日

### 1. 業務目的

本業務は、原浄水場内にある第1配水池及び第2配水池を対象とした詳細な耐震診断を目的とする。

### 2. 業務対象

耐震診断を実施する対象施設の概要は次のとおりとする。

所在地：宍粟市波賀町原 545 番地 （原浄水場内）

施設名	竣工	構造	容量 (m3)	既存資料		
				設計図書	構造計算	土質資料
第1配水池	S53 (1978)	RC造 直接基礎	168	○	○	○
第2配水池	H6 (1994)	RC造 直接基礎	216	○	○	○

### 3. 業務内容

#### (1) 設計協議

##### ①初回打合せ

業務内容の確認（要望事項・内容、作業方針・工程、検討事項・内容等の協議）及び貸与資料等の確認を行う。

##### ②中間打合せ

中間報告及び作業中に発生する諸条件の処理に関する確認を行う。

##### ③最終打合せ

総括説明及び成果品の納入を行う。

## (2) 現地調査

対象施設の現地調査を行い、現状把握するとともに既存図面との整合性や施設の運転・維持管理方法を把握する。

## (3) 既存資料収集・整理

対象施設の耐震性能を評価するため、竣工図のほか、防災関連、地盤・構造特性資料を収集整理する。また、過年度に実施している耐震診断業務（R7 神戸配水池耐震診断等）の内容を十分に把握し、解析手法や設計地震動の考え方の整合を図るものとする。

## (4) 診断条件整理

### ①地盤検討

対象施設周辺の地形や地盤状況などの現地調査や周辺地の土質調査結果等に基づいて、解析に用いる地盤モデルに必要な条件を選定する。地盤に液状化が懸念される際には適切にモデルに表現する。

### ②耐震基本方針及び設計地震動設定

設計地震動のレベル及び施設の重要度に応じて、地震時にそれぞれの水道施設が保持すべき要求性能を確保できるように設計する。耐震設計にあたっては水道施設の構造特性、周辺の地盤特性等を考慮し、それらに適合した耐震設計法を用いる。

施設の重要度は「ランク A1」とする。

## (5) 耐震診断評価

### ①解析モデル作成

解析モデルは、二次元線形モデルにより構築する。なお、1号配水池上部に増設されたポンプ室の耐震計算は、本業務の対象外とするが、その自重は配水池の耐震計算における荷重として考慮する。

### ②耐震診断

耐震計算方法は、静的解析法（震度法）により、耐震性能の照査項目である断面力及び応力度を算定することを原則とする。

### ③耐震性能の照査

耐震性能について、レベル1地震動の場合には耐震性能1を保持するものとして、許容応力度法を用いての照査を行う。またレベル2地震動の場合には耐震性能2を保持するものとして限界状態設計法を用いて照査を行う。

### ④総合評価

地盤検討結果、耐震性能の照査及び施設の老朽度などを踏まえて施設の耐震性能を総合的に評価する。必要に応じて、耐震補強の必要な部材等を抽出する。各種検討結

果に基づき、対象施設について総合的に耐震性を評価し、耐震補強の必要な対象施設及び部材等を抽出する。

(6) 報告書作成

業務全般にわたり内容を整理し、本業務の報告書を取りまとめ作成する。

(7) 照査

診断内容の照査を設計の各段階において行う。

#### 4. 貸与資料

発注者が受注者に貸与する資料は、次に示す事項を標準とする。

- (1) 水道施設台帳
- (2) 工事竣工図書
- (3) 周辺地ボーリング資料
- (4) 神戸配水池耐震診断業務成果報告書

#### 5. 技術者

(1) 管理技術者及び照査技術者

本業務における管理技術者及び照査技術者は所定の資格を有すること。

(2) 担当技術者

管理技術者は業務の実施に当たり、相当な経験を有し、耐震診断に関する知識・経験が豊富な技術者をもって実施するとともに、適度な人数を配置すること。

#### 6. 提出書類

受注者は、業務の着手及び完了に当たって、契約に定めるもののほか、下記の書類を提出しなければならない。

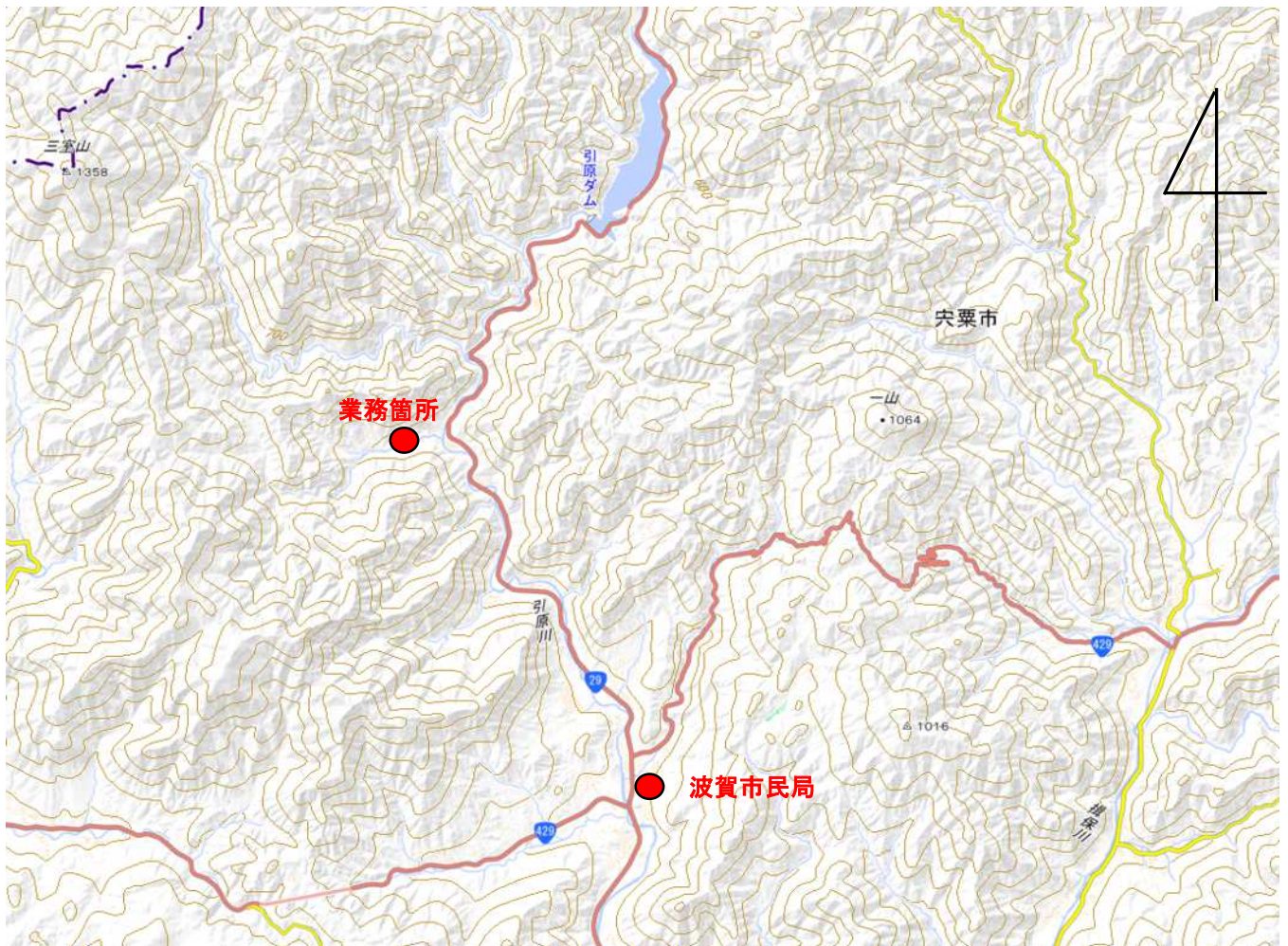
- ・業務着手時 (②③については初回協議の後でも構わない)
  - ① 技術者通知書 (管理技術者、照査技術者、担当技術者)
  - ② 業務工程表
  - ③ 業務計画書
- ・業務完了時
  - ④ 業務完了届

- ⑤ 成果品
- ⑥ 請求書

## 7. 成果品

- (1) 本業務が完了したときは、業務完了届とともに成果品を提出し、検査員の検査を受けること。
- (2) 成果品の検査において、指摘された箇所は、直ちに訂正し速やかに報告書等を納入すること。
- (3) 業務完了後において、受注者の責に伴う業務の瑕疵が発見された場合、受注者は直ちに当該業務の修正を行わなければならない。なお、これに要する経費は受注者の負担とする。
- (4) 成果品は調査員と打合せのうえ、つぎの事項について、明確に整理して2部提出すること。
  - ① 報告書
  - ② 根拠資料
  - ③ データ (CD-ROM)
  - ④ 打合せ記録簿
  - ⑤ その他必要資料
  - ⑥ 照査報告書

# 原配水池耐震診断業務 位置図



平面図

S=1 : 1000



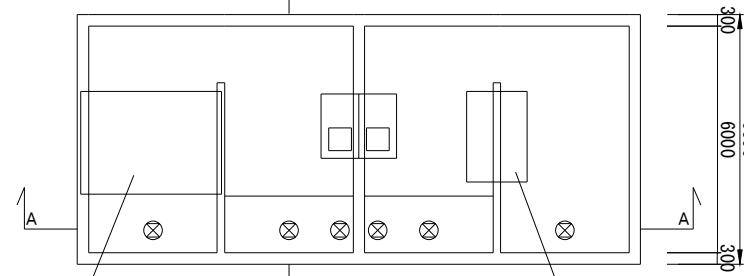
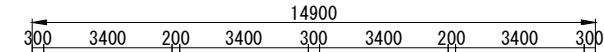
配水池構造図

S=1 : 200

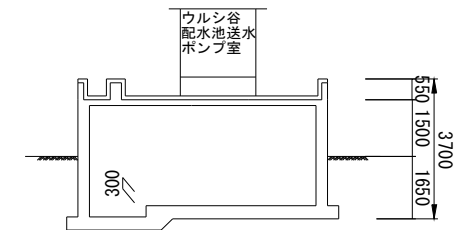
第1配水池

V=168m<sup>3</sup>

平面図



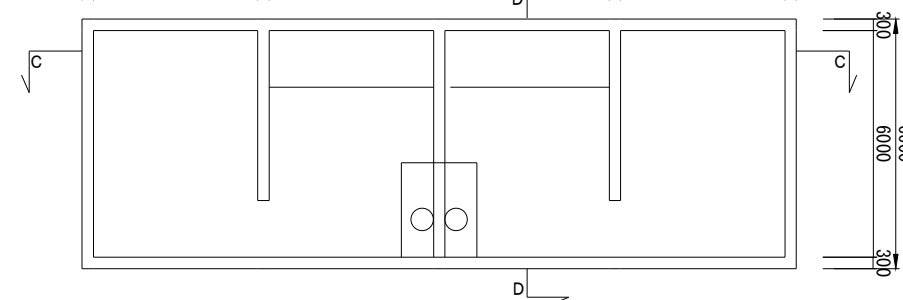
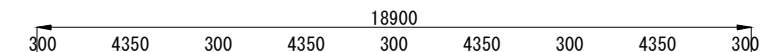
B-B断面図



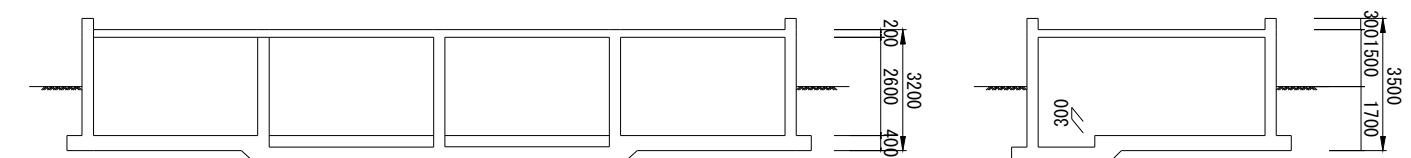
第2配水池

V=216m<sup>3</sup>

平面図



D-D断面図



令和8年度 市単独事業	
原配水池耐震診断業務	
一般図	1 <small>業全</small>
縮尺 図示	1
宍粟市	